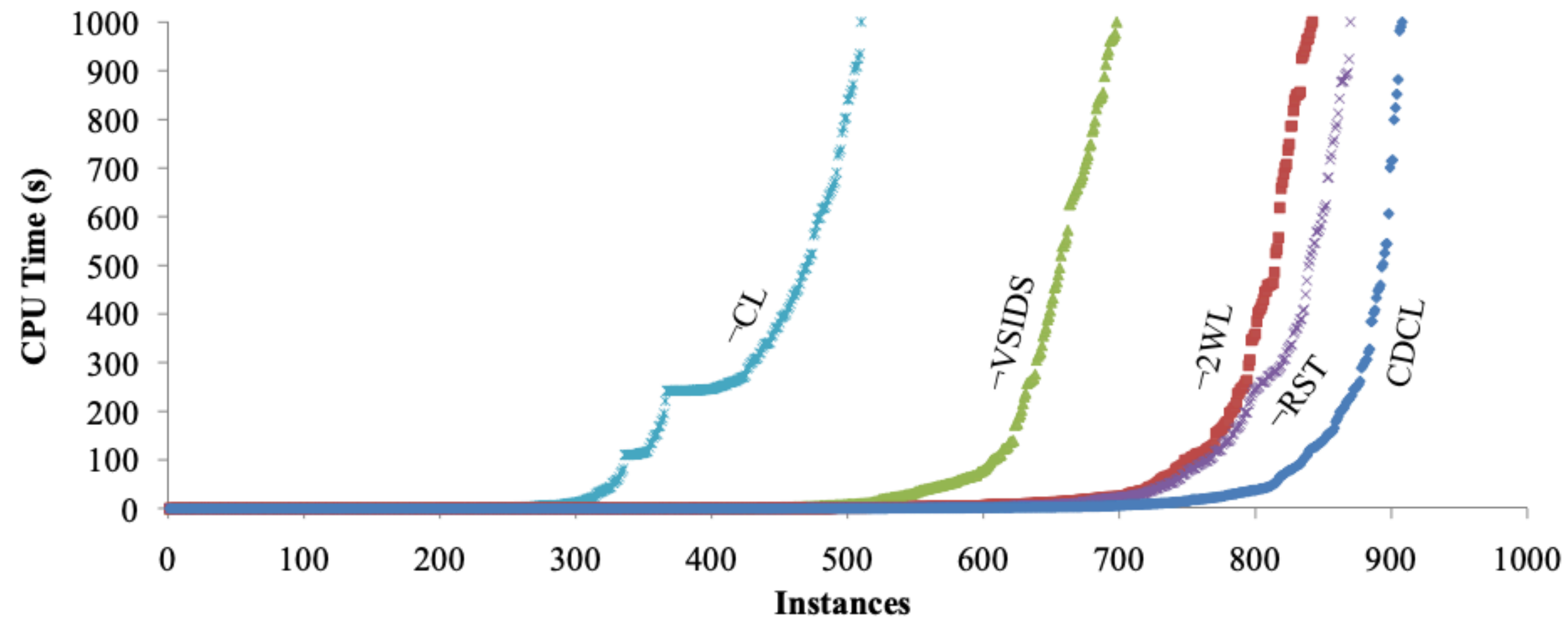


CDCL の速さ



-CL が DPLLで、プレーンな CDCL が -VSIDS

実装上の工夫を加えると、さらに高速に！

CDCL がする枝刈り

- 単位伝播 (Unit propagation)
 - 単位節 (l) が存在するとき、リテラル l を真とする変数の割り当てを自動的に行うこと
- 学習節 (learnt clause)
 - 矛盾が生じたとき、その原因となったリテラルの真偽の割り当て $(l_1 \wedge \dots \wedge l_n)$ の否定 $(\neg l_1 \vee \dots \vee \neg l_n)$ を学習する。
 - 少なくとも学習節を満たす必要があることがわかる